

携帯黒電話 Bluetooth

取扱説明書

目次

1	セットアップ	2
1.1	携帯黒電話の充電	2
1.2	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続（受動モード）	2
1.3	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続（能動モード）	4
1.4	既にペアリング登録をした機器番号に別の携帯電話を登録したい場合	5
2	通常の使用方法	6
2.1	着信	6
2.2	発信	6
2.3	フッキング	7
2.4	リダイヤル	7
2.5	受話器・送話器の音量調節	7
2.6	Bluetooth の接続	8
2.7	Bluetooth の切断	9
2.8	スマートフォンの通話アプリ（Skype, LINE 等）での通話	10
2.9	タイマー機能	11
2.10	バッテリー残量の確認	11
2.11	ベルテスト	11
3	各種モード設定	12
3.1	充電速度・充電完了ベルの設定	12
3.2	リダイヤル許可モードの設定	12
3.3	オフフック時自動接続の設定	13
3.4	常時自動接続の設定	13
3.5	マナーモードの設定	13
3.6	ダイヤル終了から発信までの待ち時間の設定	13
3.7	リセット	14
4	付録	15
4.1	電波法の認証について	15
4.2	仕様	15
4.3	ダイヤル操作の機能一覧表	16

1 セットアップ

1.1 携帯黒電話の充電

使用する前に、携帯黒電話のバッテリーを充電して下さい。

黒電話後ろにある充電用コネクタに Micro-USB ケーブルで充電器 (AC アダプタ) や PC の USB ポートを接続してください。

コネクタを差し込むと、ベルが「キンコン」と1回鳴り、黒電話内蔵バッテリーの充電が開始されます。

バッテリーが完全に無くなっている場合、ベルが鳴るまでに1分程度かかることがあります。

充電が完了すると、「キンコン」が2回鳴ります。

出力電流の小さな AC アダプタ等を使用する場合や、充電完了ベルを鳴らない設定にするには、3.1 節に従って充電速度・充電完了ベルの設定をしてください。



1.2 Bluetooth 機器の登録 (ペアリング) と接続 (受動モード)

以下の手順に従って Bluetooth 機器 (携帯電話) の登録 (ペアリング) と接続を行って下さい。

- 1) 受話器を置いたまま「81」をダイヤルしてください。(機器番号1番に登録します。最大3台まで登録でき、2番～3番に登録するには「82」～「83」をダイヤルして下さい)。

ベルが『「キンコン」1回 (しばらく休み)...』と鳴り続けます。



- 2) 携帯電話から、携帯黒電話の検索を行って下さい。操作方法は以下の通りです。

・フィーチャーフォン (docomo/Softbank/au など、ほとんどのキャリア) の場合:
「メニュー」-「LifeKit」-「Bluetooth」／「メニュー」-「便利ツール」-「Bluetooth」
／「メニュー」-「設定」-「Bluetooth」などにある、「検索」「新規機器登録」
などのメニューを選択して下さい。

「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・WILLCOM/Y!mobile の携帯電話 (PHS) の場合 :

待ち受け画面から決定ボタン押し、「Bluetooth」メニュー画面から、「親機モードで接続」の操作を行って下さい。

機種によってはさらに「登録機器一覧 (親機)」などを選択し、「検索」を行ってください。

「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・iPhone の場合 :

「設定」／「設定」-「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。



・ Android 携帯の場合：

「設定」／「設定」-「無線とネットワーク」の「Bluetooth」にて Bluetooth をオンにして、「機器の検索」をタップしてください。

「使用可能な機器」のところに「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

※検出が成功するまで数回繰り返し操作する必要がある場合があります。

3) 検出された「kurodenwa」に対して登録・接続操作をしてください。

操作方法は以下の通りです。

・ フィーチャーホンの場合：

検索された「kurodenwa」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

・ iPhone や Android 携帯の場合：

検索された「kurodenwa」をタップしてください。

携帯電話に認証や接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。

携帯電話にパスワード・パスキー (PIN) 入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

・ フィーチャーホンの場合、メニューを一段階戻り、「機器リスト・接続・切断」メニューなどから「kurodenwa」に対して接続操作をしてください。

・ それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

5) ベルが最後に「キンコン」と鳴り、以後鳴り止んだらペアリングおよび接続は完了です。



ペアリング・接続作業を中止するには：受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング：携帯電話が「kurodenwa」を検出できない場合：

・ 携帯電話の種類によっては（登録機器リストと新規機器登録のメニューが分かれている場合などに）、既に「kurodenwa」がリストに登録されている場合は、新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除してから、再度検出・検索を行って下さい。（一旦ペアリングした後、該当機器番号に別の機器に登録したり、携帯黒電話のリセット（3.7 節）を行ってペアリング情報が消去されてしまった場合、黒電話側では登録がなく、携帯電話側では登録されているという不整合が生じるためです）。

・ 携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オンしたり、再起動してみてください。

この方法は、ダイヤルした機器番号のペアリングを解除してから、外部からのペアリング・接続要求を受け付けます。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。（通常の使用では、Bluetooth の接続・切断（2.6 節、2.7 節）を行うだけです）。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。リセット（3.7 節）を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

1.3 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続（能動モード）

前節の方法でペアリングと接続がうまくいかない場合、以下の方法を試してみてください。

- 1) 携帯電話をペアリング可能（黒電話から検出可能）な状態にします。
操作方法は携帯電話によって異なりますが、主に以下のようになっています。
 - ・ iPhone の場合：「設定」／「設定」-「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。
 - ・ Android 携帯の場合：「設定」／「設定」-「無線とネットワーク」の「Bluetooth」にて Bluetooth をオンにして、「検出可能」や「機器の検索」を選択してください。Android 4.x では自機名称をタップすると検出可能な状態になります。



- ・ フィーチャーフォンの場合：

「メニュー」-「LifeKit」-「Bluetooth」／「メニュー」-「便利ツール」-「Bluetooth」／「メニュー」-「設定」-「Bluetooth」などにある、「接続待機」・「登録機器リスト」・「デバイス」・「サーチ」などを選択してください。

「接続待機」と「新規機器登録」「サーチ」などの複数の接続方法がある場合、「接続待機」を選択して下さい。「接続待機」を選ぶと、携帯電話画面が待ち受け画面に戻りますが、それで Bluetooth の接続待機状態になっています。続けて以下の通り黒電話の操作を行って下さい。

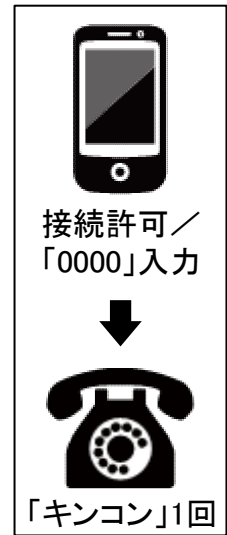
※フィーチャーフォンで「接続待機」が無い機種は本節の方法は使用できません。

※ペアリング時には、登録したい機器とは別の Bluetooth 対応機器が近くにある場合は、その機器の Bluetooth 機能をオフにするか、電源をオフにしてください。（誤って別の機器と接続しないようにするため。Bluetooth を使用したマウス・キーボード・ヘッドホンなどもこれに含まれます。）ペアリング後は、その機器の Bluetooth 機能をオンにしても構いません。

- 2) 携帯電話のペアリング準備が完了したら、受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。（この番号に携帯電話が登録されます。以後「機器番号」と表記）。
まず、「キンコン」3回（しばらく休み...）とベルが鳴り続けます。
- 3) 黒電話がペアリング先の携帯電話を発見すると、ベルの音が「キンコン」2回（しばらく休み...）に変化し、ペアリングを開始します。



- 4) ペアリングを開始すると、携帯電話で以下のような応答が起こります。
(機種により応答は異なります)。
- ・何のメッセージもなく、自動的に接続する
 - ・接続するかどうかのメッセージが現れる。その場合、許可してください。
 - ・接続するかどうかのメッセージの後、パスキー・パスワード(PIN)入力画面が現れる。
- この場合には、「0000」を入力してください。
接続先の名称は、「kurodenwa」と表示されます。
- 5) ペアリングが成功すると、ベルの音が『「キンコン」1回(しばらく休み)...』に変化し、Bluetoothの接続に移行します。
- 6) Bluetoothの接続が成功すると、「キンコン」とベルが一度鳴って鳴り止み、Bluetoothのペアリングと接続が完了します。



ペアリング・ハンズフリー接続作業を中止するには：

受話器を上げて下さい。ベルが鳴り止み、接続作業が中止されます。

トラブルシューティング：「キンコン」の回数が減っていかない場合

- ・本節1)に戻り、携帯電話のペアリング設定を見直してください。
- ・周辺に別のBluetooth機器がある場合、その機器のBluetooth機能をオフにしてください。
- ・1.4節の操作により、黒電話のペアリング情報を消去してやり直して下さい。
- ・携帯電話のBluetoothに「kurodenwa」が登録されている場合、登録(ペアリング)を解除・削除して最初からやり直して見て下さい。
- ・「1」「2」「3」のいずれかの番号に携帯電話を登録(ペアリング)すると、同じ携帯電話を異なる番号には登録できませんので、確認してください。携帯黒電話のリセット(3.7節)をすると、出荷時の状態に戻すことができます。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetoothの接続・切断を行うだけです)。

携帯黒電話のバッテリーが切れても、ペアリング情報は保存されています。

携帯黒電話のリセット(3.7節)を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

1.4 既にペアリング登録をした機器番号に別の携帯電話を登録したい場合

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「1」「2」「3」の機器番号を指止めまで回したまま4秒ほど待ち、ベルが「キンコン」と鳴ってから指を離して下さい。後の作業は、上記と同じです。

(この操作では、登録されたペアリング情報を消去して、再度ペアリング(受動モード)を行います)。

2 通常の使用方法

2.1 着信

最大2台までの携帯電話と Bluetooth 接続し、同時に待ち受けできます。携帯電話に着信があると黒電話のベルが鳴ります。ただし、マナーモードに設定してある場合には鳴りません。(3.5 節参照) 受話器を上げると通話を開始します。受話器を置くと通話が終了します。

着信拒否をするにはフッキング (2.3 節参照) をしてください。

受話器を上げているときに着信があった場合にもベルが鳴ります。フッキング (2.3 節) することにより通話を開始することができます。

2.2 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という音がするのを確認します。

(この際、「ツー・ツー...」という断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth での接続ができていません。ペアリング (1.2 節, 1.3 節) および Bluetooth の接続 (2.6 節) の操作が完了しているかを確認してください。

次に、黒電話のダイヤルを回して電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。

(ダイヤル終了から発信までの待ち時間は設定できます。3.6 節を参照してください。また、ダイヤル終了後にフッキング (2.3 節) をすると、待たずにすぐに発信します)。

複数の携帯電話が Bluetooth で接続されている場合には、最も機器番号の小さい携帯電話を使って発信します。

同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できない場合があります (携帯電話会社による再発信規制)。その場合は、受話器から「ツー・ツー・ツー・ツー...」という音が鳴ります。しばらく (3 分程度かかる場合もあります) 時間をあけてから再度ダイヤルしてください。

また、携帯電話の操作により発信後、黒電話で通話することもできます (携帯電話の種類により出来ない場合や、操作が必要な場合があります)。*1

黒電話の受話器は置いたまま、携帯電話で発信操作をした後、少し (2, 3 秒) 経ってから黒電話の受話器を上げてください。受話器から発信中の音が聞こえ、以後は通常の発信と同じです。

*1 携帯電話の機種により、通話中に音声パスを Bluetooth に切り替える操作が必要になる場合があります。携帯電話の通話画面やメニューで操作してください。

2.3 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合に電話を取るには、受話器を置いて（または指でフックを押して）、0.5 秒以内に離してください。



受話器を置いた状態の時に電話がかかってきた場合に着信拒否するには、受話器を上げて、0.5 秒以内に置いてください。



2.4 リダイヤル

受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。

ベルが「キンコン、キンコン、キンコン」と3回鳴り、最後に黒電話でダイヤル発信した番号にダイヤルします。（携帯電話の操作により発信した番号には使用できません）。

注意：受話器を上げてフッキングを行う間には何もダイヤルしないでください。

使用できる電話番号は31桁までです。

※出荷時には、リダイヤル禁止モードに設定されています（3.2節参照）。



2.5 受話器・送話器の音量調節

通話中に以下の番号をダイヤルすると音量を調節できます。その都度「キンコン」とベルが鳴ります。調節範囲を超えている場合にはベルは鳴りません。

- 「1」: 受信 音量アップ ↑
- 「2」: 受信 音量ダウン ↓
- 「3」: 送信 音量アップ ↑
- 「4」: 送信 音量ダウン ↓



設定した音量は記憶され、次回以降の通話にも有効です。

電池切れになっても記憶されています。リセット（3.7節）をすると出荷時の設定に戻ります。

2.6 Bluetooth の接続

携帯電話と Bluetooth の接続をするには、以下の通り 4 つの方法があります。

※下記の手順で接続をするには、まずペアリング (1.3 節) を行っておく必要があります。

※既に別の携帯電話と Bluetooth の接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断 (2.7 節) を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

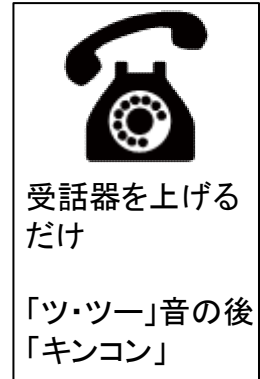
最大 2 台の携帯電話と接続し、同時待ち受けできます。

① 黒電話の操作により接続する方法 (その 1) ←通常はこの方法が便利

受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした「1」「2」「3」のいずれかの携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴ります。携帯電話との接続が完了するとベルが「キンコン」と鳴り、受話器の音が「ツー」に変わります。

※この操作による接続を行うには、「オフフック時自動接続」機能がオンになっている必要があります。本機能は出荷時にはオンになっています。設定を変更するには 3.3 節を参照して下さい)



② 黒電話の操作により接続する方法 (その 2) ←接続する携帯電話を指定したい場合

受話器を置いたまま、接続したい機器番号「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。

「キンコン… キンコン…」と繰り返し鳴り続けます。

接続が完了すると「キンコン」と一度鳴り、ベルが鳴り止みます。

既に携帯電話と接続している状態で別の機器番号をダイヤルすると「キンコン」が 3 回鳴り、エラーとなります。別の携帯電話に接続したい場合には、一旦切断してから (2.7 節)、本節の接続操作を行ってください。



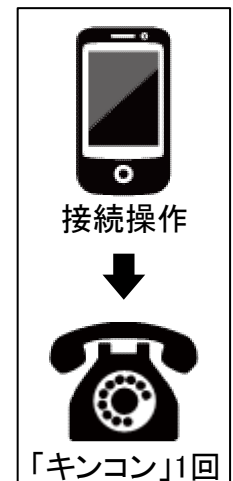
接続を中止するには、受話器を上げてください。ベルが鳴り止み、接続作業が中止されます。

※参考：ダイヤル「1」「2」「3」は、ペアリング (1.3 節) と Bluetooth 接続 (本節) の 2 つの機能を持っています。まだ携帯電話が登録されていない場合にはペアリング動作をし、登録されている場合には接続動作をします。

③ 携帯電話の操作により接続する方法 ←接続する携帯電話を指定したい場合

携帯電話から携帯黒電話 (名称は「kurodenwa」) を選び、「接続」の操作を行ってください。(操作方法は携帯電話によって異なります)。

接続が完了すると、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。



④ 常時自動接続の設定をする方法 ←可能な限り常時接続しておきたい場合

Bluetoothの接続が切れている間、携帯黒電話から常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話に対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由によりBluetoothの接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると、自動的に接続されます。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「プー・プー」音が鳴ります。

この方法で接続するには「常時自動接続（3.4節）」が有効になっている必要があります。出荷時にはオフになっています。

※この機能を使用すると消費電流がおおよそ1.5倍に増え、電池の持続時間が短くなります。

2.7 Bluetoothの切断

黒電話での通話を使用しない場合には、以下の手順でBluetoothの接続を切断して下さい。

以下の通り、2つの方法があります。

また、既に接続している携帯電話とは別の携帯電話に接続したい場合も、以下の方法で接続を一旦切断してから、接続操作(2.6節)を行って下さい。

① 黒電話の操作により切断する方法

・全ての接続を切断する場合：

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4」または「4 4」を回して下さい。

・機器番号を指定して切断する場合：

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4 1」～「4 3」を回して下さい（「4」に続く2桁目が機器番号に相当します）。



「4」をダイヤル

ベルが「キンコン、キンコン」と2度鳴り、携帯電話とのBluetooth接続が切断されます。

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から携帯黒電話の名称「kurodenwa」を選び、「切断」の操作を行って下さい。（操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります）。

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と2度鳴ります。



切断操作

③ Bluetoothの電波が届かなくなった場合には、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と2度鳴り、切断されたことを示します。

2.8 スマートフォンの通話アプリ (Skype,LINE 等) での通話

携帯黒電話の通常に通話 (回線交換方式) は Bluetooth の HFP (ハンズフリープロファイル) を使用します。

しかし、通話アプリ (Skype, LINE 等) での通話は HFP に対応しておらず、HSP (ヘッドセットプロファイル) で接続されるため、通話アプリの発信・着信の操作を黒電話で行うことができません。Bluetooth (HFP) 接続中の通話アプリでの通話は、以下 1) ~ 5) のような動作になります。

※以下の説明は全てのスマートフォン・OSでの動作を保証するものではありません。場合により、通話アプリの着信時にスマートフォンからも黒電話からも着信音が鳴らない・通話の際に音声通話デバイスの切り替え (スマートフォン本体または黒電話受話器) がうまくいかないなどの不具合が発生することがあります。

1) 通話アプリへの着信時、以下のいずれかの動作になります。

- ・ iPhone : スマートフォンにて着信音が鳴り、スマートフォンにて通話ができます。
この場合、下記 3) の操作にて、黒電話の受話器での通話に切り替えることができます。
- ・ Android : スマートフォンにて着信音が鳴らず、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴ります。
この場合、黒電話の受話器を上げ、さらにスマートフォンで着信操作をすると、黒電話受話器で通話ができます。黒電話の受話器を置くと、下記 4) の通り、スマートフォンでの通話に切り替わります。

2) 通話アプリでの発信操作時、以下のいずれかの動作になります。

- ・ iPhone : スマートフォンにて発信すると、通常通りそのままスマートフォンにて発信・通話ができます。
この場合、下記 3) の操作にて、黒電話の受話器での通話に切り替えることができます。
- ・ Android : スマートフォンにて**発信すると発信中音はスマートフォン本体から鳴らず、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴ります。**
この場合、黒電話の受話器を上げると発信中音が聞こえ、通話相手が応答すると、黒電話受話器にて通話できます。黒電話の受話器を置くと、下記 4) の通り、スマートフォンでの通話に切り替わります。

3) スマートフォンにて通話中、黒電話の受話器を上げて「1」をダイヤルすると、黒電話受話器にて通話できます。

4) 黒電話受話器にて通話中、**受話器を置いても通話アプリの通話は終了せず、スマートフォン本体での通話に切り替わるだけ**でこちらの声は相手に聞こえていますので注意してください。通話の終了にはスマートフォンでの操作が必要です。

5) スマートフォンや通話アプリによっては、通話画面にて通話に使用するデバイス (スマートフォン本体または黒電話受話器) を切り替えることができます。

2.9 タイマー機能

携帯黒電話をタイマーとして使用できます。

設定できる時間は1分～99分（1分刻み）です。

タイマーの時間精度はあまり良くありませんので、あくまでも目安として使用してください。

操作方法は以下の通りです。

1) タイマーの設定

受話器を置いたまま、「0」に続けて、2桁の時間（分）をダイヤルしてください。各桁の間は5秒以上空けないでください。5秒以上空けると「キンコン・キンコン」とベルが鳴り、設定が中断されます。

3桁の番号をダイヤルし、タイマーがセットされると「キンコン」とベルが鳴ります。

例：3分を設定する場合、「003」をダイヤルしてください。

設定可能な最大時間は99分（「099」をダイヤル）です。

2) タイマー通知ベル

設定した時間に到達すると、「リン... リン...」とベルが鳴り続け、約30秒後に停止します。

受話器を上げててもベルを止めることができます。

2.10 バッテリー残量の確認

受話器を置いたまま「5」をダイヤルするとベルが「キンコン」と1回から3回鳴り、バッテリー残量を確認できます。

レベルはあくまでも目安で、正確ではありません。

「キンコン」3回：バッテリーレベル：高

「キンコン」2回：バッテリーレベル：中

「キンコン」1回：バッテリーレベル：低

2.11 ベルテスト

受話器を置いたまま「9」をダイヤルすると呼び出し音のベルが鳴ります。

受話器を上げると止まります。

3 各種モード設定

受話器を置いたまま下記の番号のダイヤルを回し、指止めのところで4秒ほど止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、ベルが「キンコン」と鳴る回数で設定結果を知らせます。

「キンコン」の回数は、1回がYES（有効）、2回がNO（無効・禁止）と考えると分かりやすいです。

設定内容はバッテリー切れになっても保存されます。



3.1 充電速度・充電完了ベルの設定

内蔵バッテリーの充電速度・充電完了ベルの設定をします。

通常は、Micro-USB コネクタに接続された先がPCかACアダプタかを自動判別し、標準充電(PCの場合)／急速充電(ACアダプタの場合)を切り替えます。

しかし、自動判別できない場合や、USB ハブから充電する場合等、充電電流をさらに小さくしたい場合にこの設定を行ってください。

「5」のダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に以下の数字を回してください。充電電流値を設定できます。

「5」に続き「1」を回す：強制的に低速充電（最大100mA）に設定

「5」に続き「2」を回す：強制的に標準充電（最大500mA）に設定

「5」に続き「3」を回す：強制的に急速充電（最大1000mA）に設定

「5」に続き「4」を回す：標準／急速充電を自動判別

それぞれの設定を受け付けると、対応した番号の回数（1／2／3／4回）ベルが「キンコン」と鳴ります。

※出荷時・リセット後には充電速度は「自動判別」になります。

「5」に続き「5」を回すと、充電完了ベルが鳴る・鳴らないが切り替わります。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で充電完了ベルが「鳴る」、2回で「鳴らない」です。

充電完了ベルを「鳴らない」設定にした場合に、満充電になっているかを確認する方法は以下の通りです。

挿してある充電器を一旦抜き、30秒以内に再度挿します。その時に、「キンコン」が2回鳴ったら満充電完了の合図です。1回の場合は充電開始の合図です。

※出荷時・リセット後には充電完了ベルは「鳴る」になります。

3.2 リダイヤル許可モードの設定

かばんの中に携帯黒電話を入れて運んだりする際、荷物が当たってフッキングされてしまい、勝手にリダイヤル機能が作動する可能性があります。

これを回避するために、以下の「リダイヤル許可モード」を使用してください。

「6」のダイヤルを回し、指止めのところで止、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回でリダイヤル「許可」、2回で「禁止」です。

※出荷時・リセット後には「リダイヤル禁止」に設定されます。

3.3 オフフック時自動接続の設定

受話器を上げた際に、自動的に Bluetooth 接続を開始するかどうかを設定します。(2.6 節①)

「8」のダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

携帯黒電話をカバン等で持ち運ぶ際など、フックが外れて困る場合には「オフ」に設定してください。

※出荷時・リセット後には「オン」に設定されます。

3.4 常時自動接続の設定

ペアリングが完了している携帯電話に自動的に常時接続を試みるかどうかを設定します。(2.6 節③)

「7」のダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で常時自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

※出荷時・リセット後には「オフ」に設定されます。

3.5 マナーモードの設定

着信ベルを鳴らなくするための設定です。

「9」のダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で着信ベルが「有効(鳴る)」、2回で「無効(鳴らない)」です。

※出荷時・リセット後には着信ベルは「有効」になります。

3.6 ダイヤル終了から発信までの待ち時間の設定

ダイヤル速度が遅い電話機や、ダイヤルに時間がかかりダイヤル途中で発信してしまう場合には、以下の設定でダイヤル終了から発信までの待ち時間を長くすることができます。

「5」のダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に「7」を回します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で待ち時間「延長」、2回で「標準」です。

※出荷時・リセット後には「標準」に設定されます。

3.7 リセット

携帯黒電話に何らかの異常が発生した場合、リセットを試してみてください。
受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めのところで4秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離してください。
すると、「キンコン」が5回鳴って、携帯黒電話マイコンのリセットがかかります。
リセット後、操作可能になるまでに5秒程度かかります。

リセット後は、各種モード設定が以下の通り、出荷時の状態に戻ります。

- ・モード設定：

充電速度：	自動判別
充電完了ベル：	鳴る
マナーモード：	鳴る
リダイヤル：	禁止
オフフック時自動接続：	オン
常時自動接続	オフ
ダイヤル待ち時間：	標準
- ・Bluetoothのペアリング登録情報が消去されます
- ・受話器・送話器の音量が出荷時の状態に戻ります

4 付録

4.1 電波法の認証について

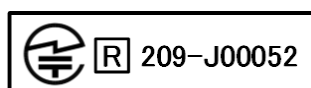
本製品は日本の総務省の工事設計認証を受けた Bluetooth モジュールを内蔵しています。モジュールの情報は以下の通りです。

認証製品名	WT32/Class 2 Bluetooth Module
認証申請者名:	Blue Giga Technologies Oy
認証番号	209-J00052

認証マークを確認するためには黒電話底面のネジ（2つ）を緩め、注意深く上下に分解してください。緑色のプリント基板に実装されている銀色のモジュールに認証マーク・認証番号が刻印されています。

認証マークはモジュール刻印と同じものを機器外部や取扱説明書に記載できることが法律で認められています。

必要な場合は以下のラベルをコピーして電話機の底面等に貼り付けてください。



4.2 仕様

Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2（通信距離最大 10m、実用 3m 程度）
Bluetooth 対応プロファイル	HFP 1.6（ハンズフリープロファイル 1.6）
Bluetooth 機器ペアリング台数	最大 3 台
Bluetooth 同時待ち受け台数	最大 2 台
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
電源	リチウムイオン充電電池 3.7V 1900mAh 大容量化可能（オプション）
待ち受け時間 （Bluetooth 接続時）	約 6 日間 （電波環境や携帯電話との距離により変わります）
内蔵バッテリー充電時間	標準充電：5 時間程度 急速充電：4 時間程度 常時 AC アダプタ接続での使用も可能（電池の過充電にはなりません）。
充電用電源入力	Micro-USB Micro-B レセプタクル（メス）コネクタ ・標準充電：5V 最大 500mA ・急速充電：5V 最大 1.0A 充電速度は自動切り替え。手動設定も可能。
付属品	取扱説明書（本書） Micro-USB ケーブル USB 充電器（AC100V 用）

4.3 ダイヤル操作の機能一覧表

携帯黒電話 Bluetooth バージョン 特殊操作一覧表		ver 3.03~	
番号	通話中に ダイヤルする	受話器を置いてダイヤルする	
		普通にダイヤルを回す	ダイヤルしてホールド
1	受信音量アップ	ペアリング・接続（能動）機器番号 1	ペアリングやり直し 機器番号 1
2	受信音量ダウン	ペアリング・接続（能動）機器番号 2	ペアリングやり直し 機器番号 2
3	送信音量アップ	ペアリング・接続（能動）機器番号 3	ペアリングやり直し 機器番号 3
4	送信音量ダウン	Bluetooth 切断(1 桁, 2 桁)	
5		バッテリー残量確認	充電速度・充電完了ベル設定(2 桁)
6			リダイヤル許可モード設定
7			常時自動接続設定
8		ペアリングやり直し・接続(受動)(2 桁)	オフフック時自動接続の設定
9		ベルテスト	マナーモード設定
0		タイマー機能(3 桁)	リセット

以上です。

それでは、携帯黒電話ライフを楽しんでいただければ幸いです。

2017 年 5 月 TTRMKR

ver. 015C-3.07